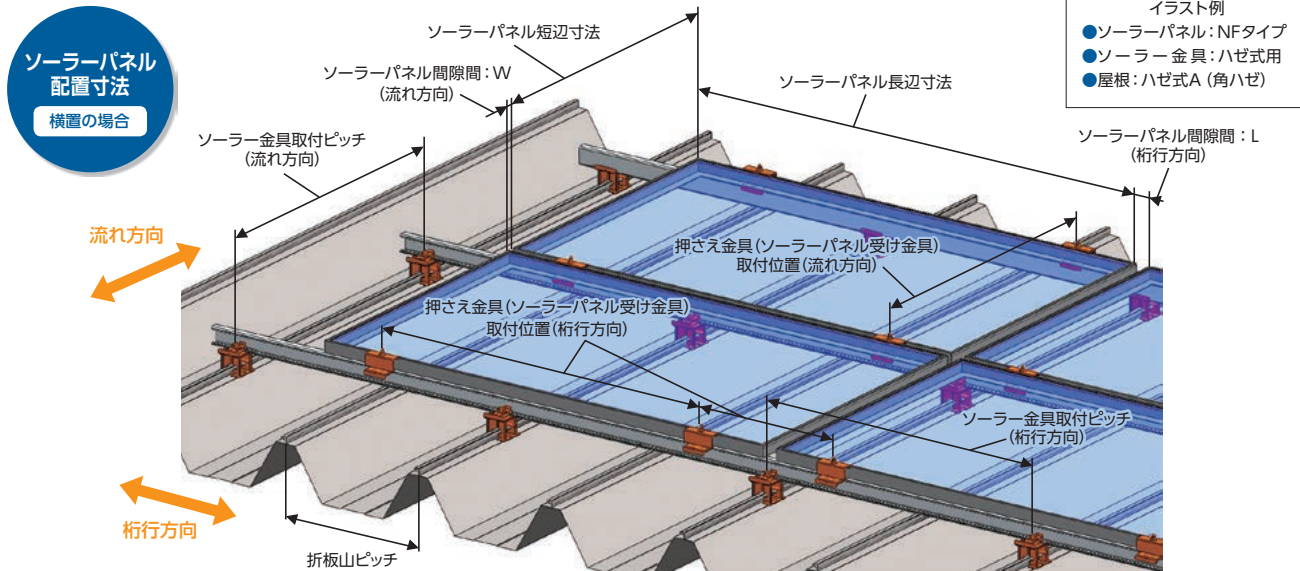


工法別共通事項

各部取合い寸法

⑤ ラック工法 (重ね式屋根を除く)



※ソーラーパネルメーカー様にて隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

ソーラーパネル間隙間 (桁行方向) : L

桁行方向 : 5mm以上

ソーラー金具取付ピッチ

流れ方向 = ソーラーパネル短辺寸法 + W (ソーラーパネル間隙間 (流れ方向))

桁行方向 = 屋根 (折板) 1 山ピッチ飛ばし、または屋根 (折板) 全山取付

※桁行方向は、各屋根ごとの設置条件により決定します。

押さえ金具 (ソーラーパネル受け金具) 取付位置

流れ方向 = ソーラーパネル短辺寸法+W (ソーラーパネル間隙間 (流れ方向))

桁行方向 : ソーラーパネルの取付穴付近に配置してください。

※ソーラーパネルメーカー様にて固定点数および固定位置の指定がある場合は、その指定に準拠してください。但し、桁行方向の取付ピッチは350mm以上。

設置条件について

- ①ソーラーパネル固定方法: ソーラーパネルフレーム押さえ固定 4または6箇所留以上 (ソーラーパネル1台あたり)
- ②屋根なり設置 (屋根置き形): アレイ面 (屋根面) = 屋根勾配=設置 (傾斜) 角度
- ③ラック材 (歯付き) の許容片持ち寸法: 400mm以下 (ソーラー金具取付ピッチ 1200mm以下) / 300mm以下 (ソーラー金具取付ピッチ 800mm以下)
- ④桁行方向の押さえ金具 (ソーラーパネル受け金具) 取付ピッチ: 350mm以上

※その他の設置条件については各屋根ごとの設置条件を参照してください。

屋根設置について (ソーラーパネル設置可能範囲)

- ①軒先、妻 (けらば)、包み、棟、採光部分 (樹脂製屋根など) には設置しないでください。(軒、妻への設置は設置条件および JIS C 8955 : 2011 の適用範囲外です。) また、ソーラーパネルおよびソーラー金具・架台は屋根端部から 500mm以上離して、かつ壁線より内側に設置してください。
- ②屋根周辺部 (外周) は屋根中央部に比べ、風圧荷重が大きくなる傾向があります。その為、ソーラーパネルは、屋根周辺部 (外周) より、それぞれの辺長の 10% の範囲 (辺長の 10% が 3m を超える場合は 3m とする。また、辺長の 10% が 500mm 未満の場合は 500mm とする。) を離隔し、設置することを推奨致します。

